

急性期充実体制加算 2 に関する揭示事項

(実績は令和 6 年度の値)

1. 手術等に係る実績

全身麻酔による手術	2,246 件
うち、緊急手術	362 件
腹腔鏡下手術又は胸腔鏡下手術	521 件
化学療法	1,081 件
異常分娩	165 件

2. 外来化学療法の実施を推進する体制

1) 外来腫瘍化学療法診療料 1 の届出を行っています。

2) 化学療法を実施した実患者数 425 件／年 (①)

うち、外来で化学療法を実施した実患者数 350 件／年 (②)

$$\text{②} \div \text{①} \times 10 = 8.2 \text{ 割}$$

3. 24 時間の救急医療提供

1) 年間の救急搬送件数は 4,762 件です。

2) 当院の精神科医が速やかに診療に対応できる体制を整備しています。年間の救急搬送患者の入院 3 日以内における入院精神療法の算定件数は 26 件です。

4. 入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制

当院では、下記の構成員による「院内迅速対応チーム」を設置しています。

医師 富田 守

専任の看護師 八木 洋子

病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応状況に関する改善の必要性等について提言するための責任者は下記のとおりです。

関 常司

当該チームが入院患者の情報を把握した場合は、当該患者が入院する病棟の医師及び看護師等に情報提供を行うとともに、必要に応じて当該患者の診療に介入いたします。当該チームは 24 時間体制をとっており、病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者に対する対応方法をマニュアルとして整備し、職員に遵守させています。

病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応の改善に関する委員会を令和 7 年 3 月 18 日～24 日（WEB 会議）に開催し、上記責任者が参加しています。

また、院内講習を令和 6 年 7 月 31 日、令和 7 年 2 月 13 日に開催しています。

5. 外来縮小体制

1) 当院は紹介受診重点医療機関として、他院からの紹介状を持参せずに直接来院された患者さんに対し、初診料の算定時に「特別初診料」として実費 7,700 円を徴収し、東海北陸厚生局に報告を行っています。

2) 年間の受診状況は、下記のとおりです。

初診の患者数	10,573 名
再診の患者数	200,568 名
紹介患者数	7,106 名
逆紹介患者数	9,271 名
救急患者数	2,967 名
紹介割合	95.3 %
逆紹介割合	43.9 ‰

6. 退院に係る状況等

1) 一般病棟における平均在院日数 13.6 日（令和 7 年 2 月～4 月分）

2) 一般病棟の退棟患者に占める、同一の保険医療機関の一般病棟以外の病棟に転棟したものの割合 0 割（令和 6 年度）

3) 当院では、入退院支援加算 1 の届出を行っています。

7. 禁煙の取扱い

当院は、敷地内全面禁煙となっております。また、その旨を院内の見やすい場所に掲示しています。